

# 令和6年度 校内研究推進計画

## I 研究の概要

### 1 研究主題

自ら学び、ともに高まる子どもの育成  
～ 聴き合うことを大切にした授業づくりを通して ～

### 2 研究仮説

「自ら問い合わせを発する子ども」＝「学び続ける子ども」という本校のこれまでの取組をふまえ、「自ら学び、ともに高まる子ども」に設定することで、自己の考えをもつことで学習を完結させるのではなく、自分の考えを相手に伝える活動（対話的活動）をすることで学びを確認したり、他者の考えを聴いて自分の考えと比較したりして、自ら学ぶ主体性や他者との対話を通じて学習をする協同性を育てていけるのではないかと考える。また、他者に応じた伝え方の工夫を意識していくことで、自らの学びを再確認でき、自他ともに成長していくと考える。結果、独自学習よりも深い学びを手に入れることができるのでないかと考える。

### 3 研究構想図

豊かな心をもち、自ら学び、仲間とともにたくましく生きる子  
—すべての子が安定した居場所のある学校づくり—

自ら学び、ともに高まる子どもの育成  
～ 聴き合うことを大切にした授業づくりを通して ～

#### 基礎学力の定着

- 朝のしつかりタイム
  - ・書く活動
  - ・読書活動
  - ・計算

- 家庭学習の習慣化
  - ・宿題
  - ・予習復習
  - ・自主学習
  - ・チャレンジウィーク

- 学習規律の徹底
  - ・全校統一の規律

- 板書の工夫
  - ・全校統一の黒板カード
- 学習形態の工夫
  - ・ペア学習
  - ・グループ学習
  - ・コの字型

#### 学ぶ力をつけ、考えを深める

#### 聞き合うことを大切にした授業

- 興味・関心をもたせる
  - ・導入や課題の工夫
  - ・発問の工夫

- 見通しをもたせる
  - ・めあての提示
  - ・単元全体を示す

- 聞き方の定着
  - ・「聞き方あいうえお」の活用

- 対話的活動
  - ・聞き方
  - ・話し方

- ペア・グループ学習
  - ・取り入れるタイミング
  - ・取り入れる目的

- 振り返りをさせる
  - ・何が分かり、何ができるようになったかの意識づけ（メタ認知）

- 伝え合うことを通じた自他の学びの深まり
  - ・相手に応じた表現の工夫

#### 授業研究の充実

安定した居場所のある学校づくり - 仲間づくり

児童の実態、保護者・地域の願い